

同窓会の集

(平成21年3月)



益田翔陽高
開校平成18年4月
同窓会結成(平成21年1月)
平成21年3月(第一期卒業)



益田産高
同窓会結成84周年

輝かしい歴史と伝統に育まれた同窓会に
新しい躍動する若い力が融合する同窓会



益田工高
同窓会結成43周年

学校名	島根県立益田翔陽高等学校 (〒698-0041) 益田市高津三丁目21-1 TEL (0856) 22-0642 FAX (0856) 31-1043
事務局	島根県立益田翔陽高等学校同窓会 (〒698-0027) 益田市あけぼの東町13-1 財団法人赤陵会(会館3階) TEL (0856) 23-1619 FAX (0856) 23-1619

—— 我 等 が 母 校 ——



島根県立益田産業高等学校・島根県立益田翔陽高等学校 正面玄関



◀ 都 茂 分 校

匹 見 分 校 ▶



島根県立益田工業高等学校

我等が母校

益田産業高等学校 校歌

作詞 堀江耕造
作曲 堀江清一

一、七尾山聳ゆる處
吉田原拓くる處
其処に建つ我等が校舎
人文の華の魁
高き名を永久に伝えん

二、北海の波浪を凌ぎ
山陰の佳景を賞でつ
明け暮れ励む若人
青春の意気の象徴と
野に山にその香誇らん

益田工業高等学校 校歌

作詞 富田敏夫
作曲 長岡敏夫

一、光と風が 呼びかける
久城台地に 夢若く
科学のとびら 真理の窓を
ああわれら いま
求めて ひらく

二、雲わきあがる 山なみと
青く きらめく 日本海
眺めて ここに 春秋三歳
ああ はつと
はばたく いのち

三、のぞみと 意気を この胸に
高くかざして はげむ日々
県立 益田工業高校
ああ わが母校
栄えよ 伸びよ

島根県立益田翔陽高等学校校歌

『きみだけの道』

作詞 田淵久美子
作曲 加羽沢美濃

道の向こうに何がある
まだわからない まだ知らない
でも確かなもの
それは胸のうちにある
この世に生まれてきた意味を知ろう
この世にひとつだけ
きみだけの夢あることを

時に迷い時に苦しみ
でもそこに答えはある きっと
自分を信じよう
声を聴こう 心の
この世に生まれてきた意味を知ろう
この世にひとつだけ
きみの幸せあることを

空高く 海は静か
山蒼く 川は流れ
森繁く 雲はゆく
天翔る鳥のように
自由を描こうおおらかに

道の向こうに待っている
きみの未来が輝いて
さあ歩きだそう
高らかに理想を持ち
この世に生まれてきた意味を知ろう
この世にひとつだけ
きみの明日があることを

この世に生まれてきた意味を知ろう
この世にひとつだけ
きみだけの夢あることを
きみの幸せあることを
きみの明日があることを

【産高】

開校 大正10年 4月15日
(第1期生57名入学)
閉校 平成20年 3月3日
卒業生総数17,263名
(2分校卒業生を含む)

都茂分校

開校 昭和28年 5月1日
(第1期生38名入学)
閉校 昭和48年 3月5日
(卒業生総数628名)

匹見分校

開校 昭和28年 5月1日
(第1期生24名入学)
閉校 昭和63年 3月5日
(卒業生総数758名)

【県工】

開校 昭和38年 4月1日
(第1期生302名入学)
閉校 平成20年 3月1日
卒業生総数7,113名

【翔陽】

開校 平成18年 4月11日
(第1期生184名入学)
平成21年 3月3日
(第1期生177名卒業)

◆ 校名校章の変遷



1) 益田農林学校
大正10年4月
～昭和23年3月



3) 益田高等学校
昭和24年4月
～昭和28年3月



益田工業高等学校
昭和38年4月1日
～平成20年3月3日



2) 益田農林高等学校
昭和23年4月
～昭和24年3月



4) 益田産業高等学校
昭和28年4月
～昭和42年3月

5) 益田農林高等学校
昭和42年4月
～平成6年3月

6) 益田産業高等学校
平成6年4月～
平成20年3月



益田翔陽高等学校
平成18年4月11日

◆ 歴代校長

〈県立益田産業高等学校〉

代	校長氏名	在職期間	備 考
初	伊藤 広三郎	大10.3～	昭2年農林科卒業 昭9年農林科卒業
2	大橋 清蔵	昭6.4～	
3	根建 森熙	昭10.1～	
4	田村 丈二	昭12.4～	
5	藤島 吾郎	昭15.4～	
6	山田 保	昭21.4～	
7	藤田 茂	昭35.4～	
8	川井 俊也	昭43.7～	
9	小川 実	昭49.4～	
10	福岡 宏	昭52.4～	
11	松田 威	昭54.4～	
12	伊藤 忠二	昭57.4～	
13	中川 浩	昭60.4～	
14	有川 弘道	昭63.4～	
15	小林 茂正	平4.4～	
16	大崎 辰郎	平6.4～	
17	村尾 亘彦	平9.4～	
18	多田 利昭	平11.4～	
19	山田 忠男	平14.4～	
20	大賀 敏郎	平16.4～	
21	岩本 節雄	平18.4～	

〈県立益田工業高等学校〉

代	校長氏名	在職期間
初	佐藤 米茂	昭38.4～
2	柳井 勝	昭40.4～
3	岡村 正尚	昭44.4～
4	森 恒太郎	昭50.4～
5	江角 静	昭52.4～
6	森田 魁	昭55.4～
7	中本省五郎	昭59.4～
8	奈良井 國雄	昭62.4～
9	福原 重利	平元.4～
10	森脇 健臣	平4.4～
11	水野 博充	平6.4～
12	桑田 龍三	平8.4～
13	藤田 康博	平10.4～
14	服部 勝幸	平14.4～
15	岩本 節雄	平16.4～
16	小村 孝志	平18.4～

〈県立益田翔陽高等学校〉

代	校長氏名	在職期間
初	岩本 節雄	平18.4～

沿 革

～ 翔陽高等学校までの道程 ～

(益田工業高等学校・益田産業高等学校統合に関わる、これまでの経過)

これまでの経緯

- ① 1996年(平成8年)7月 県教委教育長は今後の魅力ある県立学校のあり方について、「21世紀に向けた県立学校づくり検討委員会」に諮問
- ② 1996年(平成8年)10月 検討委員会は「急を要する県立学校づくりについて」と題して第一次答申
- ③ 1997年(平成9年)3月 「魅力ある県立学校づくりに関する調査」を中学生高校生を対象に実施
- ④ 1998年(平成10年)3月 「21世紀に向けた県立学校づくり検討委員会」(小村悦子会長)は「21世紀に向けた魅力ある県立学校のあり方について」県教委に最終答申
- ⑤ 1999年(平成11年)8月30日 県教委「県立学校再編成基本計画」の中間まとめ発表
- ⑥ 1999年(平成11年)10月から 県教委「地域の意見を聞く会」開催
11月20日 「学校統合問題についての懇談会」と称して益田地区で開催
益田工業高校にて15名出席(高校教育課・益田工業高・益田産業高)
本校からの出席者・・・校長、教頭、中島PTA会長、伊藤同窓会副会長
JA西いわみ代表者の5名
- ⑦ この後、教育庁内に「県立学校編成調整会議」設置
12回の審議を重ねる。
- ⑧ 1999年11月30日 県教委「県立学校再編成基本計画」発表
平成11年度から20年度までの概ね10年間を見据えた計画
県教委は、このたびの県立学校再編成は、子どもの数の減少による単なる学校規模の縮小ではなく、現在推進されている教育改革の流れを踏まえつつ、21世紀を展望した県立学校教育のあるべき姿を視野に入れたものと言っている。
- ⑨ 平成12年～平成16年教育庁内。教育委員会、諮問委員会の各種会議開催
関係自治体、地域住民へ説明会、意見聴取の会を開催
関係学校関係者への説明会の開催

- 平成16年3月15日 「県立高等学校後期再編成計画(案)」を発表(島根県教育委員会)
- 5月12日 統合に関する説明会(両校同窓会に対し)
- 6月24日 「県立高等学校後期再編成計画」を発表(島根県教育委員会)
- 7月15日 「両校統合に関する実施計画」を発表(島根県教育委員会)
- 7月30日 第1回開校準備委員会開催「両校統合に関する実施計画」に係る益田地区説明会開催
- 8月17日 第2回開校準備委員会開催
- 9月21日 先進地校視察研修(岡山城南高校・鳥取湖陵高校・宮島工業高校)
- 9月22日～11月10日 第1回外部協力者意見聴取会開催
- 12月2日 第3回開校準備委員会開催
- 12月17日 県立学校再編成調整会議(教育長)
- 12月27日 第4回開校準備委員会開催
- 平成17年2月9日 県立学校再編成調整会議(教育庁)
- 2月16日 島根県教育委員会から統合新設高等学校の概要(中間まとめ)発表及び校名募集
- 3月18日 第5回開校準備委員会開催
- 3月28日 第2回外部協力者意見聴取会
- 4月14日 県立学校再編成調整会議(教育庁)
- 4月18日 統合新設校の概要(最終まとめ)の発表
- (1) 開 校 平成18年4月
- (2) 設置場所 益田産業高等学校の校地(益田市高津3丁目21-1)
- (3) 設置学科 5学科5学級

学 科 名	コ ー ス ・ 系 列	学級数
電子機械科(工業系)	機械コース、制御コース	1学級
電 気 科(工業系)	電力技術コース、情報通信コース	1学級
生物生産工学科(農業系)	食料生産コース、生物工学コース	1学級
環境土木科(農業系)	建設システムコース、環境デザインコース	1学級
総合学科	食品科学系列、生活文化・福祉系列	1学級

- 5月9日 島根県教育長による現地視察
- 5月11日 校名の発表『島根県立益田翔陽高等学校』
- 平成17年5月11日 澄田県知事から統合新設高等学校の校名発表
- 5月18日 第6回開校準備委員会開催
- 8月22～23日 統合校視察(鳥取湖陵高等学校)
- 両校PTA会長及び役員、学校関係者 計11名
- 8月24日 校章の選考
- 両校PTA会長及び卒業生会代表
- 8月30日 体操服等の決定
- 10月 平成18年度入学定員発表(県教委)
- 10月7日 島根県総務部長及び営繕課長による現地視察
- 12月14日 開校の向けての記念植樹
- 12月27日 益田翔陽高校教育課程承認申請
- 平成18年1月1日 新設校設置、新校長の発令(現益田工業高等学校長)
- 1月17日 益田翔陽高校『校歌』等に対する説明会

～ 翔陽高・同窓会栄光の歴史 ～

☆ 益田産業・益田工業・益田翔陽高等学校

平成18年 4月1日	益田工業高校と益田産業高校が統合し益田翔陽高校が開校、それに伴い電子機械科・電気科募集停止
4月11日	平成18年度益田翔陽高校開校式・入学式
5月9日	益田翔陽高校開校式典・祝賀式
5月24日	同窓会 関東支部 役員会
6月5日	島根県総体 男子総合Bグループ優勝
6月25日	平成18年度第82回同窓会定例総会
8月	日本学校農業クラブ中国連盟主催（鳥取） ○プロジェクト発表 区分「環境」最優秀賞 生物生産工学科3年 草野 拓志 （代表）中下 祐介 谷川 透 服部 徹也 有間 未祐
	○意見発表 区分「食科」最優秀賞 生物生産工学科3年 草野 拓志 区分「文化・生活」最優秀賞 総合学科2年 杉本 和也
8月7日	全国総体出場（弓道）
10月1日	国民体育大会出場（弓道）
10月25日	日本学校農業クラブ連盟主催農業鑑定競技会（愛媛） 区分「園芸」優秀賞 生物生産工学科3年 田中万美子 " 生物生産工学科3年 椋木 絵美
10月28日	台湾花蓮高校訪問
11月	第11回中国地区高等学校生徒書道展 NHK賞 電気科1年 椋木 康太 島根県教育委員会教育長賞 総合学科3年 田村 美紀
11月	益田翔陽高等学校野球場工事開始
11月30日	同窓会合併検討会議
12月	益田翔陽高等学校工業棟工事開始
平成19年 1月	益田翔陽高等学校新設に伴う諸施設の一部改修工事
1月23日	赤陵会館玄関工事
1月29日	工業化学科開科式
2月9～11日	中国高等学校バスケットボール新人大会出場（鳥取市）
2月～3月	赤陵会館外装（塗装）工事他
3月	姉妹校（台湾花蓮高農校）創立86周年記念式典参加
3月26日	野球練習場竣工
6月15～17日	・中国大会（女子弓道） 於）鳥取 米子 準優勝
7月29日～8月2日	・全国高等学校総合文化祭 於）島根 囲碁・郷土芸能同好会
8月2～6日	・全国総合体育大会 於）佐賀 男子槍投げ
9月29日～10月9日	・国民体育大会 於）秋田 "
10月21日	全国高等学校ロボット競技大会島根県予選会場
10月23・24日	（農業クラブ） ・第58回日本学校農業クラブ全国大会出場 於）広島 鑑定競技：（園芸・造園・土木・食品）－土木優秀賞受賞 意見発表：（文化・生活区分）－優秀賞受賞
10月	東京益田会創立20周年記念行事参加
10月21日	全国高等学校ロボット競技大会島根県予選会場
11月	姉妹校友好交流会に伴う締結盟約証について 台湾「花蓮高農校」と協議
12月10日	工業実習棟竣工
平成20年 1月28日	第1回同窓会設立準備会議
2月18日	第2回同窓会設立準備会議
3月1日	益田工業高等学校閉校式を挙行
3月3日	益田産業高等学校閉校式を挙行

☆ 益田翔陽高等学校

平成20年 4月9日	益田翔陽高等学校入学式（1学年から3学年の全学年が揃う）
6月6日	工業実習棟・野球場等の竣工式典
6月15日	平成20年度（第84回）益田産業高校同窓会定例総会
7月29日	第1回同窓会設立委員会
8月	全国総合体育大会（埼玉）弓道・ボクシング出場
10月	日本学校農業クラブ全国大会出場（佐賀）意見発表・鑑定競技
11月23日	平成20年度益田工業高校同窓会総会
12月8日	2008年毎日農業記録賞高校生部門優秀賞表彰式（東京）
12月22日	第2回同窓会設立委員会
平成21年 1月31日	益田翔陽高等学校同窓会発会式
3月2日	益田翔陽高等学校第1期生入会式

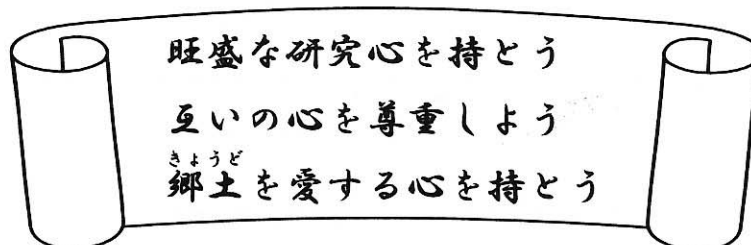


1. 校 訓

創造 敬愛 誠実

『創造性を発揮し、敬愛の心を持ち、誠実に生きる生徒を目指す』

2. 教育目標



◆ 歴代同窓会長（益田産業高）

代	会長 理事長 氏名	在職期間	備 考
初	伊藤 広三郎	〈大13.3〉	* 益田農林学校同窓会創設 初代校長
2	大橋 清蔵	昭 6.4～	2代校長
3	根建 森熙	昭10.1～	3代校長
4	田村 丈二	昭12.4～	4代校長
5	藤島 吾郎	昭15.4～	5代校長
6	山田 保	昭21.4～	6代校長
7	伊藤 正男	昭24.5～	・大13年農林科卒業（初代益田市長）
(1)	山田 保	〈昭24.3〉 〈昭24.8〉	* 新制益田農林高校同窓会創設 *（統合）益田高校同窓会と改称
(2)	滝口 貞雄	〈昭28.5〉	* 益田産業高校同窓会と改称 ・昭24年農業科卒業
8	花田 直二郎	〈昭33.5〉	* 同窓会合併（益農＋益産） ・大14年農林科卒業
9	安野 次雄	昭44.3～ 平13.4～	・昭20年林業科卒業 ☆名誉会長に推戴
10	倉永 鎮雄	平13.4～	・昭31年農林科卒業
11	波田地 三男	平19.6～	・昭39年農林科卒業

（益田工業高）

代	同窓会長氏名	在職期間	備 考
初	松根 義美	昭41.4～	昭41.3 電気科卒
2	大西 孝夫	昭44.4～	昭41.3 工業化学科卒
3	田原 修	昭56.12～	昭41.3 機械科卒
4	尾崎 知幸	昭60.4～	昭41.3 機械科卒
5	大久保 五郎	平13.4～	昭42.3 機械科卒

◆ 卒業生の状況〔設置学科の変遷と学科別卒業生数〕

(益田産高)

(平成20年3月31日状況)

本分校別	学 科 名	卒業生数(名)	備 考 (学科設置期間、その他)
本校	農 林 科	2, 462	大13/3卒→16/3…昭28/3→39/3卒
	農 林 加 工 科	300	昭11/3→16/3卒
	研 究 科	9	昭11/3卒
	農 業 科	1, 913	昭16/12→27/3…昭40/3→平6/3卒
	林 業 科	382	昭16/12→22/3…昭26/3→27/3卒
	園 芸 科	1, 181	昭40/3→平6/3卒
	生 物 生 産 工 学 科	523	…平7/3卒→
	農 業 土 木 科	838	昭21/3→22/3…昭26/3→27/3卒…昭52/3→平6/3卒
	農 林 工 学 科	1, 198	…昭28/3→51/3卒
	環 境 土 木 科	512	…平7/3卒→
	農 村 経 済 科	282	昭28/3→32/3卒
	商 業 科	1, 318	昭30/3→42/3卒
	食 品 化 学 科	1, 032	昭43/3→平6/3卒
	食 品 科 学 科	373	…平7/3卒→平16/3卒
	家 庭 科	732	昭33/3→42/3卒
	家 政 科	1, 958	…昭43/3→平8/3卒
	総 合 学 科	467	…平9/3卒→
	農 業 科	177	★ 併設中学 =昭23/3→24/3卒=
	林 業 科	102	
	農 業 土 木 科	118	
本 校 計		15, 877	
分校	農 業 科	184	昭27/3→42/3卒
	家 庭 科	169	
	普 通 科	275	…昭42/3→49/3卒
	都 茂 分 校 小 計	628	
	農 業 科	113	昭32/3→40/3卒
	家 庭 科	61	
	普 通 科	584	…昭40/3→63/3卒
	匹 見 分 校 小 計	758	
	分 校 計	1, 386	
卒 業 生 総 数		17, 263	

(益田工業高)

(平成20年3月31日状況)

学 科 名	卒業生数	備 考 (学科設置期間)
本校	機 械 科	3, 067名
	電 気 科	1, 615名
	工 業 化 学 科	1, 908名
	電 子 機 械 科	523名
卒業生総数		7, 113名

(益田翔陽高)

(平成21年3月卒業〈第1期生〉)

学 科 名	卒業生数	備 考 (学科設置期間)
電 子 機 械 科	38名 (男38)	
電 気 科	30名 (男29 女1)	
生 物 生 産 工 学 科	39名 (男9 女30)	
環 境 土 木 科	33名 (男30 女3)	
総 合 学 科	37名 (男1 女36)	
計	177名 (男107 女70)	

◆ 母校の現況（平成20年度）

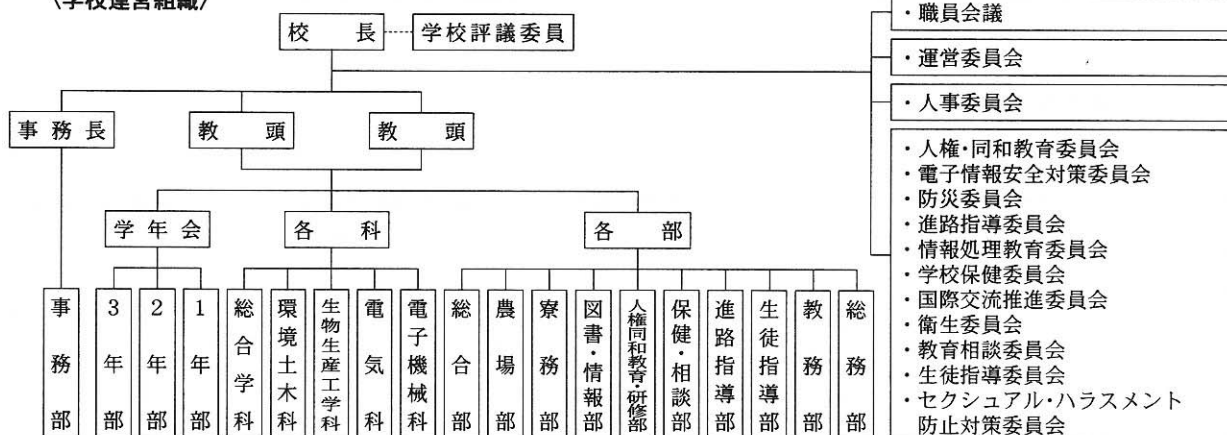
1. 設置学科及び在籍生徒数

学年	性別	電子機械科			電 気 科			生物生産工学科			環境土木科			総 合 学 科			合 計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1 年		36	0	36	18	2	20	15	25	40	29	1	30	0	34	34	98	62	160
2 年		31	1	32	32	0	32	13	21	34	18	0	18	2	39	41	96	61	157
3 年		38	0	38	29	1	30	9	30	39	30	3	33	1	36	37	107	70	177
計		105	1	106	79	3	82	37	76	113	77	4	81	3	109	112	301	193	494

2. 教 職 員 数

区 分	校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	常 勤 講 師	非 常 勤 講 師	主 任 実 習 教 員	実 習 教 員	A L T	事 務 長	企 画 幹 事	主 任	主 任 校 務 技 術 員	学 校 司 書 専 門 員	雇 用 事 務 員	校 医	薬 剤 師	嘱 託 (炊 事)	嘱 託 (警 備)	計
男	1	1	32		7	5	4	8	—	1	2	1	1			4	1		4	72
女			7	1	3	5	1		—					1	1			2		21
計	1	1	39	1	10	10	5	8	—	1	2	1	1	1	1	4	1	2	4	93

〈学校運営組織〉



3. 施 設 の 現 況

校舎敷地	野外運動場	野 球 場	農 場	演 習 林	寄宿舎敷地	道 路 敷	庭 園	そ の 他	計
12,609	38,069	15,354	113,499	85,809	3,300	6,425	5,104	1,921	282,090

② 農 場 内 訳 (㎡)

果 樹 園	水 田	野 菜 園	花 卉 園	畑 作 園	建物敷地道路等	きのこの森	水島公園	計
5,660	17,527	5,279	7,640	2,474	58,909	14,000	2,010	113,499

③ 建 物 敷 地 (㎡)

建物名称	構造別	室 数	面 積	建物名称	構造別	室 数	面 積	建物名称	構造別	室 数	面 積
管 理 棟	鉄 筋		2,503.0㎡	屋 体	鉄 筋	1	1,357.0㎡	テニスコート		5 面	
教 室 棟	"		2,875.2	柔剣道場	"	1	309.0	競 技 場		400m 4種公認グラウンド	
農場建物	"	7 3	6,241.4	弓 道 場	"	1	134.0	寄 宿 舎	鉄 筋	4 0	1,138.0㎡
工業実習棟	"	3 8	4,860.0					益農記念館	鉄 筋 造	1 8	502.0

◆ 同 窓 会

1. 本会の目的

会員相互の親睦ならびに連絡協調を計り、併せて母校の隆昌と地方の文化、産業の向上に寄与することを目的とする。

目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 母校の教育・文化の振興と生徒の福祉と健全育成に寄与する事業
- (2) 会員の親睦・連絡・協調に関する事業
- (3) 地域の文化と産業振興に関する助成事業
- (4) その他必要と認めた事項への支援事業

2. 会 員 数

24,553	翔陽第1期 177名、益田産 17,263名、益田工 7,113名
--------	-----------------------------------

3. 同窓会の組織

① 支部組織

元 益 田 産		元 益 田 工	
支 部		支 部	
県内65支部（内 益田市内36） 県外15支部（七尾会名）		益田支部、関東、中京、関西、瀬戸内	
卒業期別	各卒業年次 科別単位組織	卒業期	科別単位組織
職 場	島根県庁、浜田合庁 国交省、益田合庁 浜田市役所、益産白砂会		

② 平成21年3月卒業（第1期生）期科別委員

科	会 員 数	科 別 委 員（2名）	ク ラ ス 担 任
電 子 機 械 科	38名（男38）	田口桂一郎・山城 悠太	若槻 智宏・中島 大輔
電 気 科	30名（男29 女1）	真庭 規・宮崎 郁弥	糸賀 澄人・松原 健作
生物生産工学科	39名（男9 女30）	河上 續人・河本 未菜	杉尾 裕邦・竹田 正範
環 境 土 木 科	33名（男30 女3）	吉川 奉之・高橋 雅樹	角折 義男・黒目 光美
総 合 学 科	37名（男1 女36）	古山恵理花・品川ちなみ	上野 聡子・和崎 陽子
計	177名（男107 女70）		

③ 校内同窓職員 …………… 15名

氏 名	卒業・科	職 名	校務内容	氏 名	卒業・科	職 名	校務内容
石 橋 正 美	S45農業	教諭(実)	農場(生物工学) バイオ	竹 田 正 範	H14環土	講 師	農場(生物工学) 生徒・Sテニス
長谷川良成	S46農工	教諭(実)	農場(生物工学) 陸上・果樹	狩 野 広 志	H42機械	講 師	機械 生徒・柔道
石 橋 宏	S54農業	教 諭	農場(生物工学) バイオ・テニス	福 原 道 夫	S43機械	主技師	事務
城 市 直 貞	S59農土	教 諭	生徒部長(環土木) サッカー	田 根 仁 寿	S54電気	教 諭	電気科長 教務・電気
田 原 伸 治	S59園芸	教 諭	農場長(生物工学) バイオ・Sテニス	上 黒 光 一	S55電気	教諭(実)	電気 図書・弓道
石 川 敦 司	S62農土	教諭(実)	農場(環境土木) 野球	岩 田 宏 己	S62電気	実 教	電気 人同教・柔道
波田地勘六	S63農土	実 教	農場(生物工学) サッカー	岡 晶 史	S63電気	教 諭	電気 総務・バレー
岩 本 隆 美	H8農土	講 師	農場(環境土木) 教務・陸上				

益田翔陽高等学校同窓会 本部組織

役 職 名		氏 名	
顧 問		伊藤忠二 (12代校長)	村尾亘彦 (17代校長)
		中川 浩 (13代校長)	多田利昭 (18代校長)
		田原正居 (S26農土)	清谷裕二 (S33農林)
		有川弘道 (14代校長)	山田忠男 (19代校長)
		小林茂正 (15代校長)	三浦秀史 (S36農林)
		大崎辰郎 (16代校長)	寺戸和憲 (S41農業)
会 長		波田地三男 (S39農林) (会長代行) 大久保五郎 (S42機械)	
副 会 長		百合本和子 (S32商業)	大島啓作 (S47食化)
		山根紀幸 (S36農林)	柳井洋子 (S47家政)
		大畑幸三 (S36農工)	中島賢治 (S48農工)
		梅津政子 (S37商業)	鶴川 要 (S41工化)
		石田智枝 (S40家庭)	北浦正信 (S43機械)
監 事		大畑教輔 (S34商業)	角田賢志 (S42機械)
		大畑健二 (S44農業)	田原富士男 (S42機械)
理 事		上種 稔 (S32商業)	右田基司 (S46農業)
		佐々木達男 (S32農林)	藤井昭見 (S47農業)
		牛尾忠文 (S32農林)	豊田恵美子 (S47家政)
		高羽武久 (S33農林)	平野 均 (S48農工)
		伊藤 勇 (S35農林)	児玉美登 (S48農工)
		岡村 省 (S37農工)	岡崎定佳 (S49食化)
		又賀佳子 (S37商業)	栗林雄二 (S50食化)
		宮内 巖 (S38農業)	渡辺治平 (S51農業)
		三浦洋光 (S38農工)	宮藤 誠 (S51農工)
		三輪昌義 (S39農林)	野村秀人 (S52農土)
		村田敏夫 (S41農工)	矢富邦久 (S53農土)
		大石健司 (S42農業)	花本正二 (S55農土)
		岩田恒三 (S43農業)	小河恵美子 (S55家政)
		広兼重継 (S44農業)	村上洋二郎 (S56農土)
		増野六彦 (S45農業)	俵 浩二 (S41工化)
		青木和憲 (S45農業)	桐田 一 (S41機械)
		原田洋子 (S45家政)	石川 彰 (S41機械)
		岡崎 優 (S41機械)	
		松本準市 (S41電気)	
		道満正壽 (S41機械)	
		柳井 清 (S42機械)	
		矢富喜八郎 (S42電気)	
		吉部大史朗 (S43機械)	
		齋藤菊市 (S43電気)	
		藤井 栄 (S44電気)	
		佐々井智恵子 (S45工化)	
		草野和馬 (S47機械)	
		塩田純子 (S47工化)	
		坂本靖夫 (S50機械)	
		波多京子 (S51工化)	
		山本 操 (教頭)	
		佐藤行生 (事務長)	
事 務 局	事 務 局 長	岡崎友一 (S29農林)	
	次 長	城市直貞 (S59農土)	上黒光一 (S55電気)
	事 務 局 員	石橋正美 (S45農業)	狩野広志 (S42機械)
	庶 務 会 計	大谷裕子	
	母 校 教 諭		

益田翔陽高等学校同窓会会則

第1条 本会は島根県立益田翔陽高等学校同窓会と称し、事務局を赤陵会館内に置く。

第2条 本会は会員相互の親睦ならびに連絡協調を計り、併せて母校の隆昌と地方の文化、産業の向上に寄与することを目的とする。

第3条 前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 母校の教育・文化の振興と生徒の福祉と健全育成に寄与する事業
- (2) 会員の親睦・連絡・協調に関する事業
- (3) 地域の文化と産業振興に関する助成事業
- (4) その他必要と認めた事項への支援事業

第4条 本会の会員は下記の者とする。

1. 正会員

島根県立益田農林学校卒業生、同併設中学校卒業生
島根県立益田高等学校の職業課程卒業生
島根県立益田産業高等学校卒業生
島根県立益田農林高等学校卒業生
島根県立益田工業高等学校卒業生
島根県立益田翔陽高等学校卒業生

2. 準会員

前項各学校の旧職員ならびに現職員
益田翔陽高等学校PTA会長（当面）

3. 特別会員

かつて前項の各学校に在学した者で、理事会で適当であると認められた者

第5条 本会に次の役員を置き任期は2年間とする。但し、再任を妨げない。

会 長 1 名
会長代行 1 名（当面）
副 会 長 若干名
理 事 若干名
監 事 4 名
事務局長 1 名
同 次 長 2 名

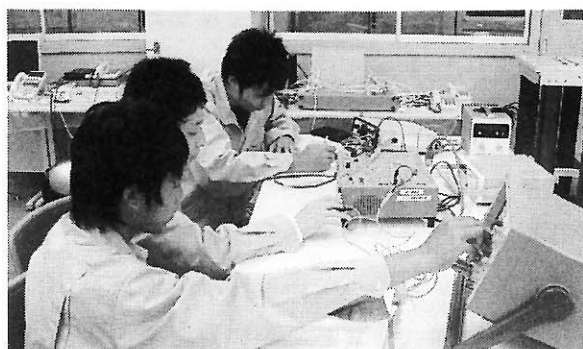
1. 会長は本会を代表し、会務を総理する。
2. 会長代行は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
3. 理事は会務の計画的遂行に参画する。
4. 監事は会計を監査する。
5. 事務局長及び次長は会長の命をうけて会務を処理する。
6. 補充選任の者の任期は前任者の残任期間とする。

第6条 役員の選任は下記による。

1. 会長、会長代行、副会長、理事及び監事は総会において選出し、事務局長、事務局長代行及び次長は理事会の議を経て会長が任命する。
2. 益田翔陽高等学校PTA会長は副会長（当面）、教頭及び事務局長は理事となることを原則とする。
3. 事務局次長は、同窓生の本校職員があたる。
4. 事務職員
事務を処理するために職員を置くことができる。
職員は、会長が任免する。
職員は、有給とすることができる。

- 第7条 本会に顧問を置く
1. 顧問は歴代の会長を含め、理事会の承認を得て、会長が推薦する。
 2. 顧問は常時会の運営について助言するほか、会議に出席して意見を述べる事が出来る。
- 第8条 本会に次の組織を置く。
1. 支部組織
 2. 卒業期・科別組織
- 第9条 支部組織について次のように定める。
1. 支部に支部長1名、副支部長若干名を置く。
 2. 本会代議員を支部長の他、若干名定めることができる。
 3. 正副支部長は支部会員の互選によって決める。
- 第10条 卒業期・科別組織について
1. 卒業期・科別に各卒業生をもって組織する。(…科第…期会と称する。)
 2. 前項各会にそれぞれ委員を置き、内若干名を本会代議員とすることができる。
 3. 委員は各会の構成会員が互選する。
- 第11条 本会は次の会議を持つ
1. 総 会 毎年1回開くことを原則とし、必要により臨時総会を開く事が出来る。
 2. 理 事 会 第5条によって規定する役員によって構成する。
 3. 代議員会 第9条第2項、並びに第10条2項に規定する代議員によって構成する。
- 第12条 会議はすべて会長が召集し、出席者の過半数を以て決する。
- 第13条 下記事項は総会の議決を得るものとする。
1. 本会の解散又は合併
 2. 会則の改廃、変更
 3. 財産処分
 4. 事業計画、並びに収支予算
 5. 事業報告、並びに収支決算
 6. 役員の選出及び解任
 7. その他、会長が認めた重要事項
- 第14条 代議員会は総会に代わって前条各号のうち4・5・6の各項につて決議することができる。但しその場合は次の総会に報告しなければならない。
- 第15条 本会の経費は会費（終身会費）及び寄付金、その他の収入を以てこれに充てる。
1. 会費の徴収は次の通りとする。
 - (イ) 1人12,000円（終身会費12,000円）を学校卒業入会の際納入する。
 - (ロ) 必要に応じて臨時会費を総会の議決を経て徴収することができる。
- 第16条 会計年度は毎年4月に始まり翌年3月に終わる。
- 第17条 一般会計においては毎年剰余金の2分の1を基金として積み立てるものとする。
- 附 則 本会則は、平成21年1月31日より適用する。

平成20年度の点景



E科 マルチメディア実習



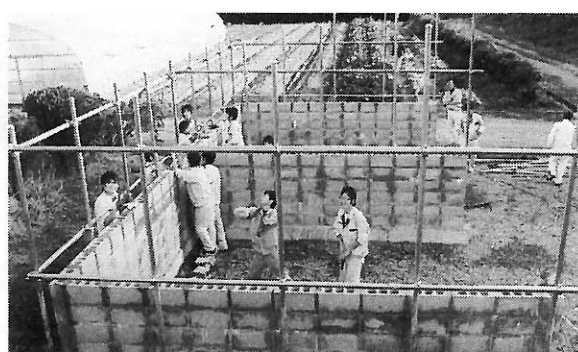
G科 福祉実習



L科 水稻播種実習



S科 鑄造実習



T科 堆肥置き場施工実習



益田翔陽高等学校同窓会発会式

校 章



益田翔陽高等学校校章の由来

益田翔陽高等学校設置にともない一般公募作品の中から、玉木絵美氏作のデザインが校章として採用された。

外周の形状は、翔陽の「翔」の字をモチーフとし、鳥が大空に羽ばたく形を表わし、緑と光あふれる環境のもとで「伸び伸びと学ぶことができる学校」を願ったものである。

校章の色「青」は益田市の自然豊かな環境のもと、高い空、日本海、中国山地の山並み、高津川の青さを表わし、中央の「翔陽」と併せ、生徒たちがそれぞれの道を探し、天翔る鳥のように、自由に自分の未来を描くことを願っている。

新入会員に対するお願い！

- 『①益田翔陽高同窓生たる自覚と誇りをもって、社会、職域において母校で培った知識・技術を生かし、教育目標を实践（生活）して下さい。
- ②益田翔陽高同窓生の一員として連帯、強調の輪を拡大するよう努力し、母校並びに益田翔陽高同窓会の発展に貢献して下さい。……………」』
- (1) 住所や勤務先の変更や移動をした場合は、速やかに本会事務局へ連絡して下さい。
 - (2) 卒業期、科別委員や、所属支部長と絶えず緊密な連絡をとって下さい。
 - (3) 本会定例総会やクラス会、職域単位の会等には積極的に参加、協力しその育成強化に努めて下さい。
 - (4) クラス会や職域単位の会を開催する場合、必ず本会事務局に連絡して下さい。資料を提供します。
 - (5) 同窓会機関紙に希望意見や、在学中の思い出、生活の状況等を投稿して下さい。
 - (6) 母校を尋ね、また学校行事（体育祭、翔陽祭等）校外部活動に対し、積極的な協力や支援をして下さい。

☆ 調査記載上の注意

- ① 卒業年月・科名を必ず明記のこと。 ② 氏名は楷書でふりがなを必ず付記すること。
- ③ 郵便が届き電話連絡が出来るよう明記のこと。
- ④ 会社名は所属勤務先を記入し、必ず所属課役職名を明記のこと。所在地も詳細に記入のこと。
- ⑤ 住所、勤務先等を変更した時は直ちに届け出ること・本調査表は名簿作成以外には流用しません。

① 大正 昭和 平成	年（3・12月）卒業	② 氏名	ふりがな	旧姓		男・女
③ 現住所	(〒) 府 市 町 村 番地 県 郡 番			TEL	()局 番	
④ 勤務先	職業又は会社名	所属課役職名				
通信欄	(〒) 府 市 町 村 番地 県 郡 番			TEL	()局 番	

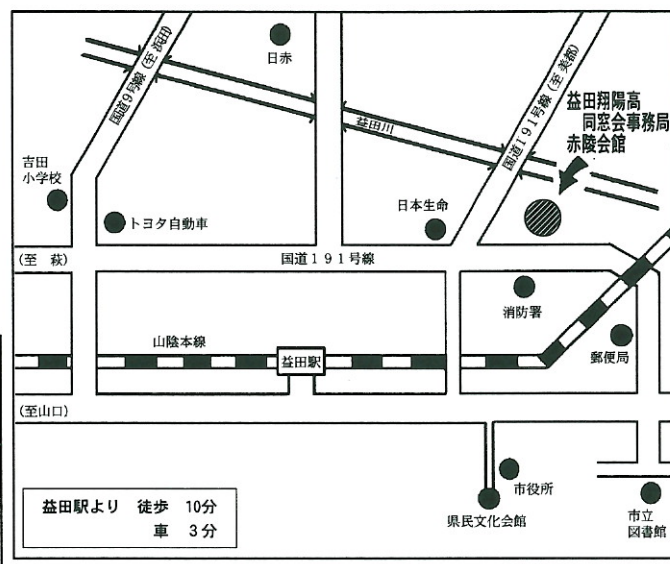
島根県益田市あけぼの東町一三一
赤陵会館(3F)

益田翔陽高同窓会事務局
同窓会名簿係 御中

郵便はがき
6980027

郵便
切手

益田翔陽高同窓会事務局・赤陵会館案内図



学校案内図

益田駅よりバス緑ヶ丘線
浜寄下車 徒歩10分
連理松下車 徒歩12分

